

仕 様 書

- 1 件 名 草加市及び八潮市消防団員用活動服の購入
- 2 納 入 期 限 2019年7月31日（水）まで
（ただし、可能な限り早急に納入を希望）
- 3 納 入 場 所 草加八潮消防組合の指定する場所
- 4 支 払 方 法 業務完了払
- 5 品目及び数量 別添1のとおり
- 6 概 要 規 格 等 別添2のとおり
- 7 検 収
 - (1) 納入時、発注者・受注者双方立会いのもと、納入場所にて検収を行う。
 - (2) 納入時において仕様書及び発注者が指示したとおりでない場合は、検収を行わないものとする。
なお、受注者は速やかに、仕様書及び発注者の指示事項を満たす製品を納入すること。
- 8 保 証 期 間
保証期間は、納入及び検収日から3ヶ月とする。
ただし、保証期間後であっても明らかに製品不良あるいは部品不良に起因する故障等が発生した場合は、受注者は無償にて速やかに製品の交換をすること。
- 9 そ の 他
 - (1) 本仕様書に疑義がある場合は、担当者と協議すること。
 - (2) 納入等に必要な経費は、受注者負担とする。
 - (3) 同等品等の証明
本仕様書に記載した規格等については、必要最低限の規格等を記載したものであり、同等品以上のものを見積もる場合は、あらかじめカタログ等を持参し、担当者の了解を得ること。

- (4) 購入品目について、入札書作成の参考となるサイズ等を担当者へ問い合わせした後、入札書を作成することとし、特性サイズと判断されるものについては特に留意すること。
- (5) 草加八潮消防組合個人情報保護条例（平成28年条例第10号）を遵守すること。また、業務上知り得た事項を漏らしてはならない。
- (6) 不当要求行為に関し、次の事項を遵守すること。
 - ア 受注者及び受注者の下請業者が、不当要求行為を受けた場合又は不当要求行為による被害を受けた場合若しくは、被害が発生するおそれがある場合は、組合管理者に報告するとともに、所轄の警察に通報すること。
 - イ 受注者は、組合及び所轄の警察署と協力し、不当要求行為の排除対策を講じること。
- (7) 業務完了時に速やかに業務完了報告書を提出すること。

10 問い合わせ先

草加八潮消防組合 八潮消防署 管理課 貫名
電話 048(996)0119(直通)

品目及び数量

番号	品 目	数 量	単 位
1	草加市消防団員用活動服	218	着
2	八潮市消防団員用活動服	215	着
	合 計	433	着

別添2

1 概要

この仕様書は、草加八潮消防組合において平成26年2月7日付けによる消防庁告示第1号消防組織法（昭和22年法律第226号）第23条第2項の規定に基づき、消防団員服制基準の改正に伴う消防団員用活動服（以下「活動服」という）について規定する。

2 総則

- (1) 当活動服の製作に要する費用は、当初に契約した見積額のとおりとし、追加支出は一切認めない。
- (2) 使用素材はすべて良質なものを使用するものとし、特に紡績糸は糸ムラ、織りキズ（ヨリ）ムラなどないもの、また、織上りは均正で、織りキズ、糸節、汚れなど欠点のないものを使用しなければならない。
- (3) 縫製については、各部の縫い合せ部はすべて優良で縫いとび、縫い外れ、その他の欠陥がないよう十分配慮し行わなければならない。又仕様書に記載なき事項についても良心的に対処すること。
- (4) 製品の納入に際しては、1着ごとにプレスした後ビニール袋により包装し、氏名、サイズが容易に確認できるようにし、消防団員名簿に基づき、部ごとにまとめて各機械器具置場に納品すること。
- (5) 納入業者は早急に試作品を提出し、担当者の検査を受けること。この時、仕様書の内容を納入者の解釈にて勝手に変更してはならない。
- (6) この仕様書に疑義を生じたときは、担当者の指示を受けなければならない。
- (7) 落札業者は、サイズ表に合わない場合（特注となる場合）、業者立会いのもと個人ごとに採寸するものとする。

3 品名及び数量

草加市消防団員用活動服 218着

八潮市消防団員用活動服 215着

4 納期 2019年7月31日（水）まで

（ただし、可能な限り早急に納入を希望）

5 制式

(1) 型式

男女統一の仕様とする。（但し、女性前合わせは右上前とする。）

※女性用下衣もレール式アジャスター仕様とする。

ア 上 衣

台衿付シャツカラー、左上前、身頃及び袖配色切替、前立て比翼ファスナー開き、（面ファスナー4ヶ所止め）、両胸フラップ付きアウトポケット（面ファスナー止め）、左袖ペンポケット、右胸階級章台付き、左胸刺繍ネーム入り、袖口ファスナー開き、肩章（釦止め）、背ヨーク部シルバー反射パイピング入り、背ヨークプリント入り、右袖にワッペン の台座を取り付け。

イ ズボン

ワンタック、前ファスナー開き、カン止め、下前天狗仕様、両腰切ポケット（右のみコインポケット付き）、後ろ両腰ピスポケット（左のみフラップ付釦止め）、両腰フラップ付きカーゴポケット（面ファスナー留め）、ポケット底及び後ろ脇にマチ入り（マチ部オレンジ配色仕様）、カーゴポケットフラップマジック止め（配色）、股下フリー仕上げ（裾上げテープ付）、レール式アジャスター仕様（ゴム式不可）、尻合わせ部・脇部片倒しステッチ縫製（割縫不可）。

(2) 使用表生地材料（A）

ア 素 材

東レ オールシーズン 制電・先染め・抗菌消臭
難燃ストレッチタッサー< # 3 5 0 0 S > 通年専用素材
静電防止素材（導電性カーボン系全面混入）
抗菌・消臭繊維織り込み（加工は不可）
伸長率 23%以上
LOI値 28.0以上
※夏用素材、冬用素材は不可とする。

イ 混紡率

モダクリル難燃繊維	48%	ポリエステル	40%
ナイロン(消臭繊維)	10%	ポリウレタン	2%

ウ 色 相

c/# 青系（指定色）
色相(H) 2.9PB 明度(V) 2.7 彩度(C) 3.4
色差(ΔE)0.6以内とする
試験方法 JIS Z 8721

エ 製品番号

上衣 MU 1 3 1 0 A
下衣 MU 1 4 1 2 A

(3) 使用副生地材料（B）

ア 素 材

表生地材料（A）と同一規格

イ 混紡率

表生地材料（A）と同一混紡率

ウ 色 相

c/#オレンジ（指定色）

色相(H) 0.1YR 明度(V) 5.0 彩度(C) 11.9

色差(ΔE)0.6以内とする

試験方法 JIS Z 8721

6 縫製条件

(1) 針 数

3 cm間で地縫いは、1 2針以上、飾り縫いは1 2針以上、オーバーロックは8針以上とする。

(2) 穴かがり

上衣は平穴、下衣は鳩目穴小門止めとする。

(3) ボタン付け

機械付け又は、手付けとする。手付けは2本の糸を1個の穴に3～4回通し根巻きは3回以上とする。

(4) 裁 縫

糸調子は上下とも、ツレ・タルミのないようにし、返し針を完全にすること。

縫い糸はテトロン糸を使用すること。

また、糸始末を丁寧に行うこと。

7 縫 製

(1) 上 衣

ア 主 衿

台衿付シャツカラーとし、衿には芯を入れ、衿巾は背中央で8 cm（衿台巾4 cm）衿先巾約8 cmとする。

イ 身 頃

前身は3枚はぎとし、バストライン及び中胴部で縫い合わせる。

縫い糸の色については、生地にあわせた縫い糸を使用し、中胴部のオレンジ生地の上にブルーの縫い糸は認めない。必ずブルーとオレンジの糸にて切り替えること。

ウ 衿 吊

衿吊は所定のものを衿付き中央にはさみ縫付とする。

エ 胸ポケット

胸ポケットは左右2個で雨蓋付きとし、面ファスナー止めとする。表にミシン目が出ないように縫い付けること。雨蓋は、はさみ付けとし、切り返しはオーバーロック掛けとする。アウトポケット（ヒダなし）とし、雨蓋及びポケットの切り替え部は副生地オレンジを使用する。ポケットは副生地オレンジとブルー生地の各切り替え生地に合わせる。

（オレンジ生地部にブルーのミシンステッチは不可とする。）

オ ペン差し

左胸ポケットの雨蓋前端より2cm内側に巾2cmのペン差しをつける。左袖上部配色部にペン差し（2本入り）を付ける。

カ 前立て

前立ては比翼ファスナー仕立てとし、面ファスナーを4ヶ所縫い付ける。

キ 背部（ヨーク）

3枚ハギとする。ヨーク切り替とし、背ヨークブルー生地下にシルバーの反射パイピングを施し、胸部周りは配色のオレンジとし、下部は本体ブルー生地とする。

ク 刺繍

左胸ポケット雨蓋上部に草加市消防団分には「草加市消防団」、八潮市消防団分には「八潮市消防団」の文字を刺繍する。

刺繍色・字体詳細は担当課と協議すること。

ケ 脇縫い

本縫し更にオーバーロックをかける。

コ 袖縫い

両袖は肘部上部で配色オレンジ生地切り替えとし、オレンジ生地下部を後部配色オレンジ生地使用ラインと合わせる。袖の縫合は本縫し、更にオーバーロックをかける。

サ 袖付け縫い

本縫し更にオーバーロックをかけること。

シ 袖口

袖口はファスナー開閉式とする。その際、ファスナーが見えないように縫製する。

ス 片布

上前胸ポケット裏面中央に所属・名前等を記入できる片布を縫付け、その下に品質表示を縫付ける。

セ サイズネーム

衿付中央の下線に、はさみ縫い付ける。

ソ 階級章台

下前身頃雨蓋付根、中央上部1.5cm上に、縦3.0cm横4.5cmの面ファスナーを縫い付ける。

タ 肩章

巾は4.5cmとし、肩章の端を袖付けの縫目に縫込み、クロスステッチを入れる。

肩章の先は衿付根部より1.5cm下がった位置とする。

チ 裾折返し

裾は三ツ折り縫いとして、水平タイプとする。

ツ バックプリント

背ヨーク部ブルー生地部に指定デザインをプリントする。

文字の大きさ・色・字体等、詳細については、担当課と協議すること。

(2) ズボン

ア 前タック

左右各1本を外向けに付け、ワンタックとする

イ 腰帯

帯巾3.5cm仕上り寸法とし、芯地を入れ、裏はマーベルト（滑り止め）を付ける。

ウ ループ

上部より1cm下にループ巾2cm、長さ5cmのループ8本を付ける。

ただし、後ろ中心のループは2本とする。

エ 両脇ポケット

ポケットは斜め口とし、ズボン上端より5cm下がりとし、ポケットの口巾は15cmとし、両脇口の箇所に0.6cmの飾りを掛ける。両脇に雨蓋付き2方箱形ポケットを縫い付け、雨蓋はオレンジの副生地を使用し面ファスナー止めとし、ミシン目が表にでないようにする。

ポケット部は本体ブルー生地を使用し、2方マチ部にはオレンジの副生地を使用する。

オ 尻ポケット

片玉にて左右にポケットを付け、左ポケットは雨蓋付きの釦止めとする。

ポケット両口端にはそれぞれ門止めとする。

カ 脇縫い

強度確保の為、片倒しステッチ縫いとする。（割縫いは不可）

キ 相引き・内股尻縫い

裁ち目はオーバーロック、内股、尻縫いはミシンで2回縫いし、特に尻縫いは、パンク破れ防止、強度確保の為、片倒しステッチ縫いとする。

割縫いは不可とする。

ク 棒シック

袋地使用、尻縫目に長さ10cm、巾2cmのものを付ける。

ケ 裾口

ハーフ仕立てとし、裾上げ用の熱圧着テープを付ける。

コ 片布

脇ポケット裏に上衣と同等の片布を付ける。

サ サイズネーム

片布下部に取り付ける。

シ 穴かがり

機械穴、鳩目とする。

ス アジャスター

ウエスト部には、樹脂製のレール式のアジャスターを取り付け、ウエスト寸法を ± 3 cmの調整が可能とすること。

サイズ表

上 衣

(出来上がり寸法) (単位：c m)

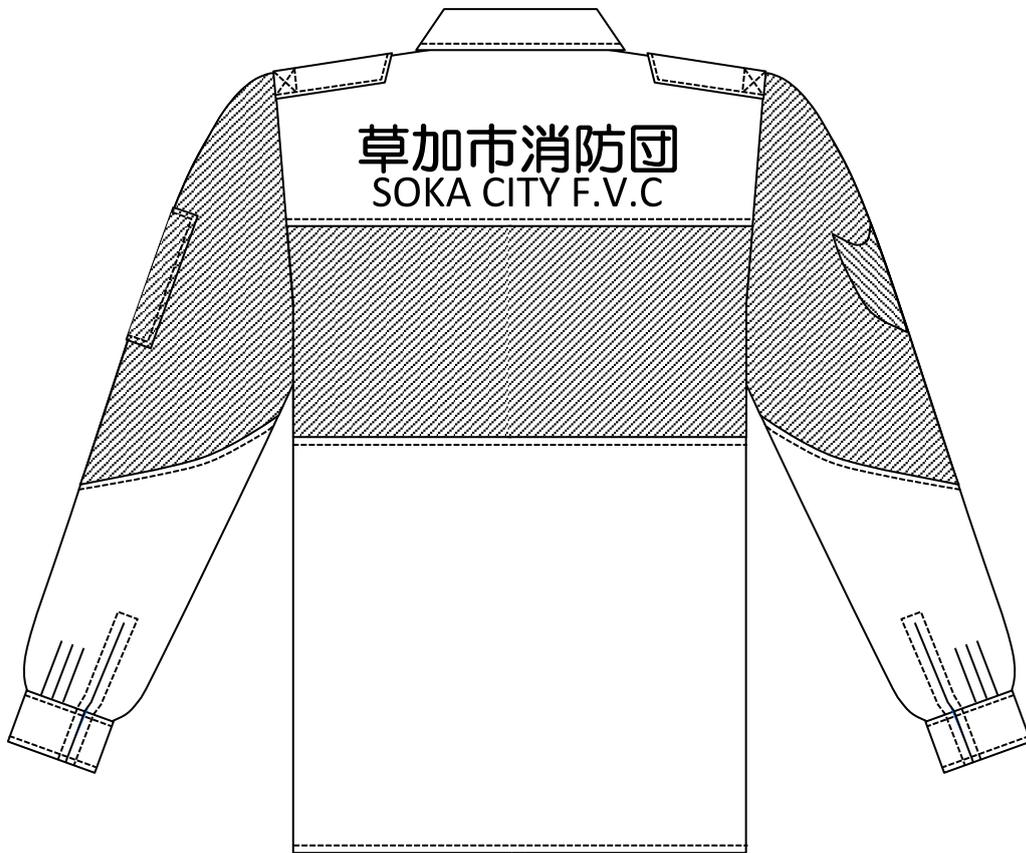
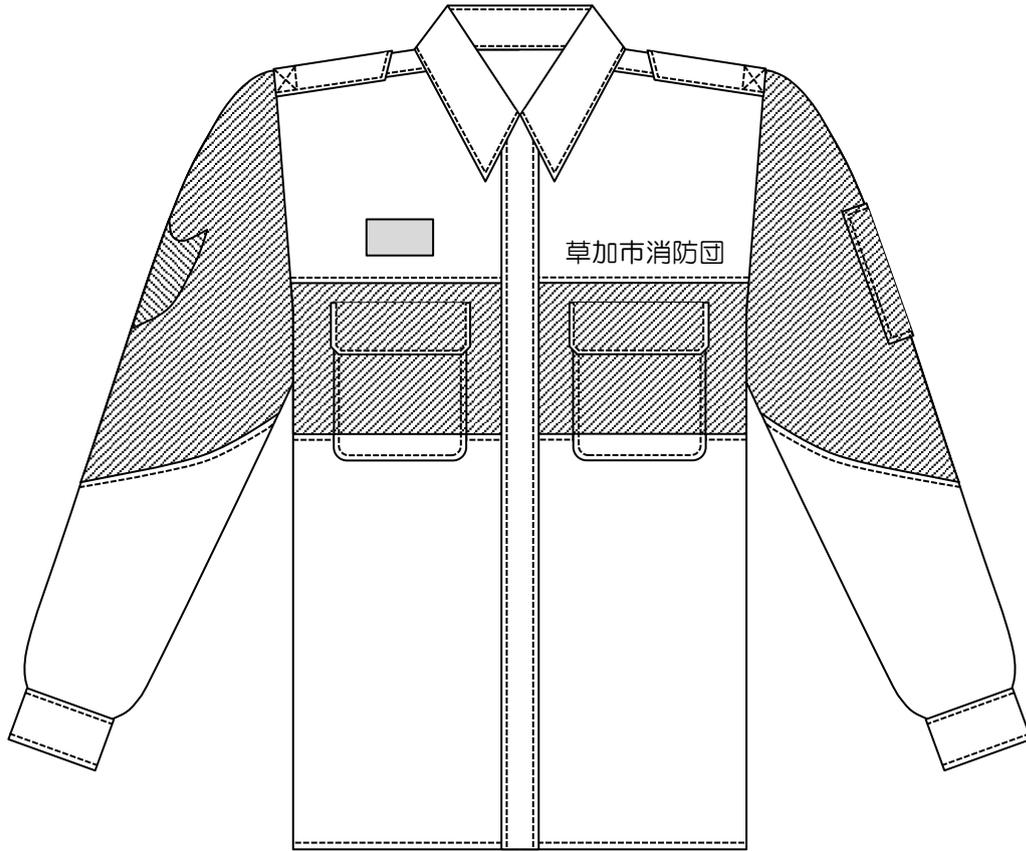
サイズ	カラー	上衣丈	胸囲	肩巾	袖丈
AS	37	75	100	43	53
AM	38	77	105	44	55
AL	39	79	110	46	57
ALL	40	81	115	48	59
A3L	42	84	120	49	63
BS	38	75	110	45	52
BM	40	78	115	47	54
BL	42	81	120	49	56
BLL	45	81	125	51	58
B3L	47	84	130	53	60
B4L	49	84	140	56	61

ズ ボ ン

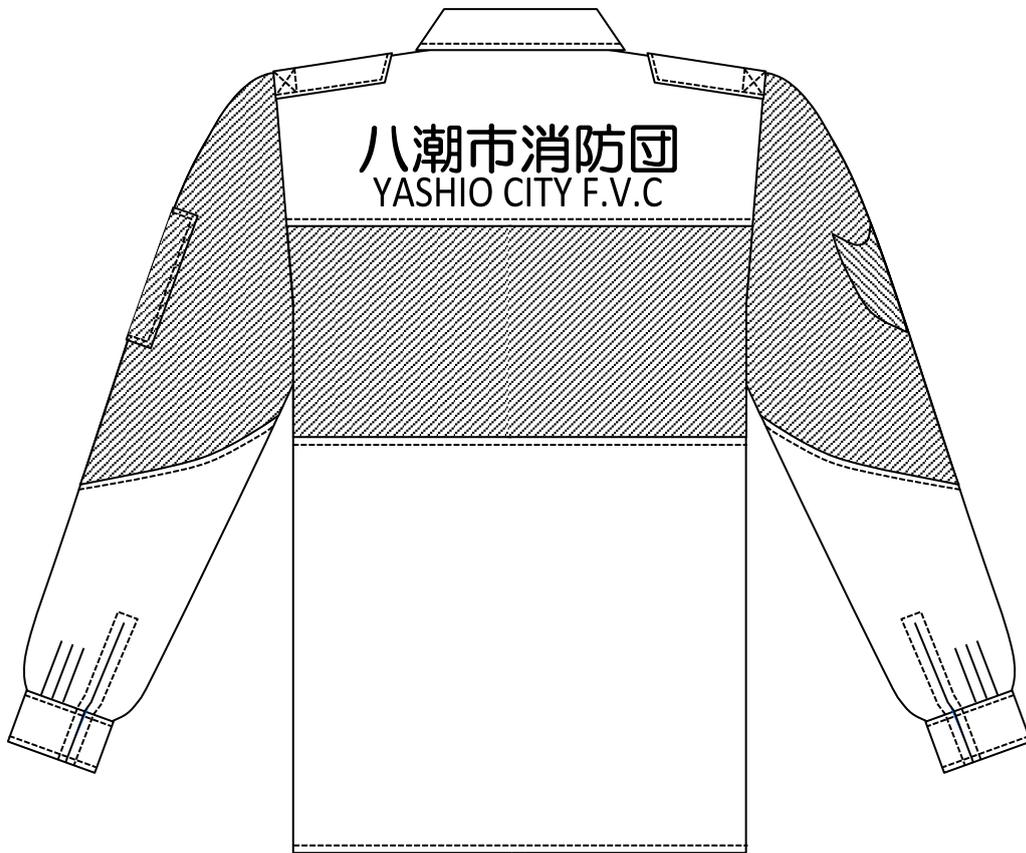
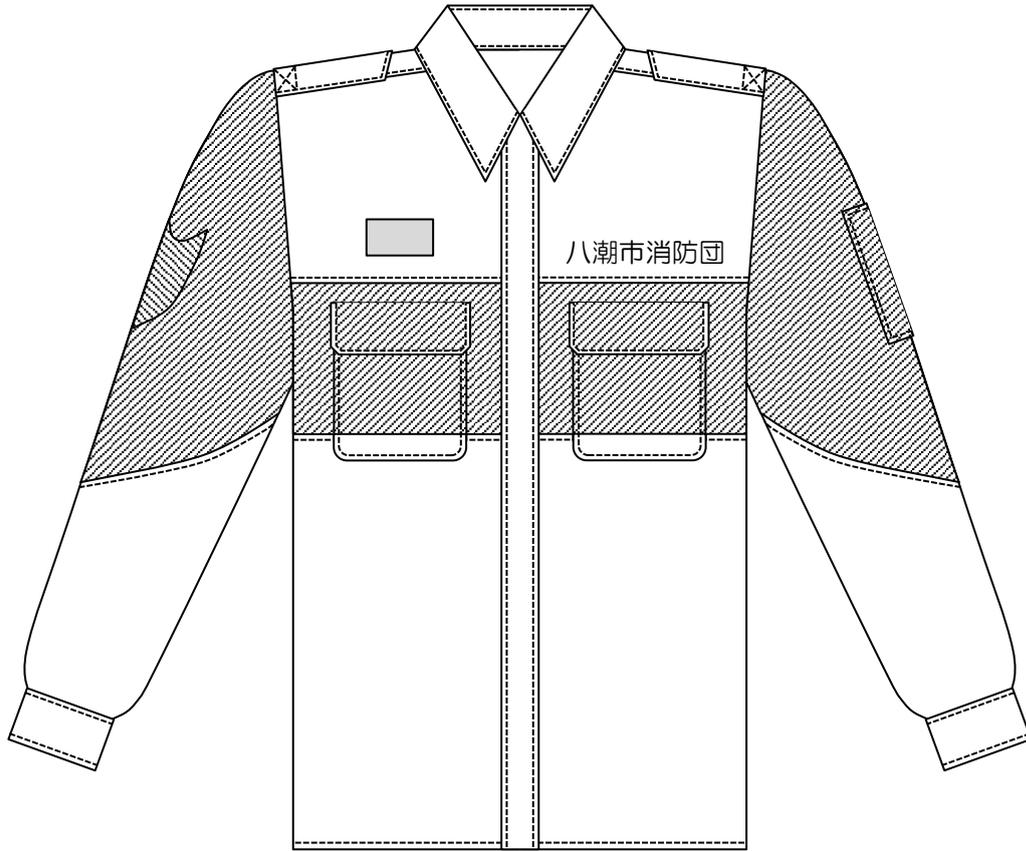
(単位：c m)

サイズ	腰廻	股下
YM	76	フリー
YL	80	フリー
YLL	84	フリー
AS	74	フリー
AM	78	フリー
AL	82	フリー
ALL	88	フリー
BS	85	フリー
BM	91	フリー
BL	95	フリー
BLL	100	フリー
W105	105	フリー
W110	110	フリー
W115	115	フリー
W120	120	フリー

概要図
上衣



概要図
上衣



概要図
下 衣

